

丹波市図書館基本計画 (第4次子ども読書活動推進計画を含む)

資料編

令和8年3月 丹波市教育委員会

～目 次～

1. 丹波市図書館基本計画策定委員会設置要綱	1
2. 丹波市図書館基本計画策定委員会委員名簿	3
3. 丹波市図書館基本計画の策定経過	4
4. 基調講演会&意見交換会レポート	7
(1) 第1回 令和6年7月21日(日)	7
(2) 第2回 令和6年12月1日(日)	12
(3) 第3回 令和7年1月13日(月・祝)	13
(4) 第4回 令和7年9月20日(土)	16
5. こども読書アンケートの結果	24
(1) こども読書アンケート調査票	25
(2) 単純集計表	27
(3) クロス集計表・分析	36

1. 丹波市図書館基本計画策定委員会設置要綱

○丹波市図書館基本計画策定委員会設置要綱

令和7年3月27日
教育委員会告示第2号

(設置)

第1条 丹波市図書館基本計画（以下「計画」という。）を策定するに当たり、専門的かつ幅広い見地からの意見を反映させるため、丹波市図書館基本計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 計画の素案の作成に関する事項
- (2) 前号に掲げるもののほか、計画の作成に必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員12人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、丹波市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が委嘱する。

- (1) 丹波市立図書館協議会委員
- (2) 学識経験者
- (3) 教育関係者
- (4) 公募による市民
- (5) その他教育委員会が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から計画の策定が終了する日までとする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(報償及び費用弁償)

第5条 委員の報償及び費用弁償は、丹波市その他の委員等の報償及び費用弁償に関する要綱（平成17年丹波市告示第516号）による。

(委員長及び副委員長)

第6条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選による。

3 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員長は、会議において必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴き、又は必要な書類の提出及び説明を求めることがで

きる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、教育部社会教育・文化財課において処理する。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が会議に諮り、これを定める。

附 則

この要綱は、令和7年4月1日から施行する。

2. 丹波市図書館基本計画策定委員会委員名簿

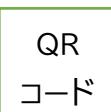
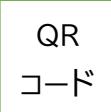
任期 自 令和7年4月17日
至 計画の策定が終了する日

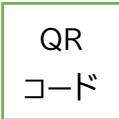
No.	選出区分	氏名	備考
1	丹波市立図書館 協議会委員	鳶木 伸一郎	副委員長
2	〃	中澤 利恵	
3	〃	由良 ゆかり	
4	〃	畠田 久祐	
5	〃	伏田 雅子	
6	〃	中岡 恵美	
7	〃	上山 未登利	
8	〃	井上 直志	丹波市立小川小学校長
9	〃	増田 博	丹波市立市島中学校長
10	〃	橋本 千英	任期 令和7年5月29日から
11	学識経験者	嶋田 学	委員長 京都橘大学教授（図書館学）
12	公募による市民	足立 真美	

3. 丹波市図書館基本計画の策定経過

丹波市立図書館では、令和6年度から「丹波市図書館ビジョン」の検討・策定とともに、基礎調査としてアンケートや市民ワークショップを行うなど「丹波市図書館基本計画」の策定を進めてきました。その経過を下記にまとめています。

日時	会議名等	概要
R6.6.6	第1回 図書館協議会	「丹波市図書館ビジョン（第2次丹波市立図書館のあり方）」以下、「図書館ビジョン」検討の概要、基礎調査等について検討、京都橘大学教授 嶋田学さんによる委員向け基調講演実施
R6.6.6	第1回 丹波市図書館ビジョン検討コアメンバー会議（以下、コアメンバー会議）	「第1次丹波市立図書館のあり方」の「成果と課題」について、基礎調査（アンケート、市民ワークショップ）の検討
R6.6.20	第2回 コアメンバー会議	図書館利用者アンケート・市民アンケート項目案、市民ワークショップ（1回目・7月開催）の内容を検討
R6.6.1～12.28 	こどもたちの意見を聞く機会として、丹波市立図書館に来館したこどもたちに「こんな図書館あつたらしいな♪」というテーマで絵を募集 ←こどもたちの絵は、丹波市ホームページに掲載	
R6.7.11～8.9 	①市民アンケート 15歳以上の市民1,200人に調査票を郵送 (回答者350人、29.1%) ②図書館利用者アンケート 15歳以上の図書館利用者2,000人に調査票を配布 (回答者639人、31.9%) ←調査結果は、丹波市ホームページに掲載	
R6.7.21	中央図書館にて市民ワークショップ「おとなもこどもも みんなで考えるこれからの図書館」を開催【参加者30名】 ・オープニングアクトとして閉館後の図書館で「ライブラリーコンサート」 ・総務省地域情報化アドバイザー・岡本真さんの基調講演 ・参加者同士で意見交換会を実施	
R6.9.3 R6.9.15	丹波市立図書館で活動する関係団体にヒアリングを実施 ・図書館サポーター【5名】、読み聞かせボランティア【6名】 ・今の図書館に足りない工夫やサービスについて	
R6.9.16	第3回 コアメンバー会議	・図書館利用者アンケート・市民アンケートの結果報告 ・市民ワークショップのふりかえり
R6.12.1	丹波市立船城小学校「ふなキッズふれあい図書室」にて基調講演会「市民と図書館」を開催【参加者20名】 ・市民によるまちライブラリーの取組事例発表 ・京都橘大学教授 嶋田学さんによる基調講演「市民と図書館」 ・参加者同士で意見交換会を実施	
R6.12.9	第4回 コアメンバー会議	「図書館ビジョン」骨子・素案、市民ワークショップ（2回目・1月開催）の内容検討
R6.12.24	第2回 図書館協議会	「図書館ビジョン」素案の検討

R7.1.13	中央図書館にて市民ワークショップ「市民協働で運営するみんなの図書館」を開催 [参加者40名] <ul style="list-style-type: none"> ・オープニングアクトとして閉館後の図書館で「落語会」 ・総務省地域情報化アドバイザー・岡本真さんによる基調講演 ・参加者同士で意見交換会を実施 ・参加者から「図書館ビジョン」素案について意見を募集 	
R7.2.12	「二十歳のつどい実行委員会」委員にヒアリングを実施 [5名] <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の図書館利用状況や魅力的だと思う図書館について 	
R7.2.14	第5回 コアメンバー会議	市民ワークショップ（2回目・1月開催）のふりかえり、 計画素案に対する意見への対応、「図書館ビジョン」計画案 検討
R7.3.6	第3回 図書館協議会	「図書館ビジョン」計画案検討
R7.3.31		「図書館ビジョン」完成
R7.6.4	第1回 丹波市立図書館協議 会	「図書館ビジョン」に基づく、具体的な運営計画「丹波市図 書館基本計画（第4次子ども読書活動推進計画）」の策定ス ケジュール等を説明
R7.6.4	第1回 丹波市図書館基本計 画策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・委員委嘱、正副委員長選出 ・計画策定スケジュール確認 ・こども読書アンケート内容検討
R7.6.27 	第2回 丹波市図書館基本計 画策定委員会 [視察研修] ←詳細は、丹波市の ホームページに掲載 しています。	市民協働による図書館運営を実施している先進図書館視察 を実施。視察先：岡山県真庭市立図書館（中央図書館・湯原 図書館） [参加者] 丹波市図書館基本計画策定委員会委員 7名 丹波市立図書館職員 11名 合計 18名
R7.7.17 	先進図書館視察 「ふりかえりの会」 ←詳細は、丹波市の ホームページに掲載 しています。	中央図書館で岡山県・真庭市立図書館視察のふりかえり会 を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・視察の感想共有 ・参加者同士で意見交換会を実施 [参加者] 丹波市図書館基本計画策定委員会委員 5名 丹波市立図書館職員 10名 合計 15名 (視察不参加の職員含む)
R7.7.7～9.30 	<p>こども読書アンケート（GIGAネットワーク構想によるタブレット上で実施）</p> <p>対象 小学校4年生～6年生 1,491人（回答者271人、18.0%） 中学校1年生～3年生 1,564人（回答者536人、34.0%）</p> <p>←調査結果は丹波市ホームページに掲載しています。</p>	
R7.8.27	第3回 丹波市図書館基本 計画策定委員会	「丹波市図書館基本計画」素案検討（主にグランドビジョン が描く姿やアクションプランについて）
R7.9.20 	<p>氷上住民センター・大会議室にて基調講演「こどもと本をむすぶもの」を開催 [参加者30名]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元・ぎふメディアコスモス総合プロデューサー 吉成信夫さんによる基調講演 ・参加者同士で意見交換会を実施 	

R7.9.25 	教育委員会委員との面談・意見交換 ←詳細は、丹波市ホームページに掲載	中央図書館にて丹波市立図書館協議会の委員（丹波市図書館基本計画策定委員会委員を兼務）と教育委員が下記のテーマについて意見交換会を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・公共図書館と学校図書館の連携について ・学校司書の配置検討について ・生涯学習拠点としての公共図書館の役割について
R7.10.9	第4回 丹波市図書館基本 計画策定委員会	こども読書アンケート、ヒアリングの結果共有、9月20日に実施した基調講演＆意見交換会で出た意見共有、「丹波市図書館基本計画」の素案検討（主にこども読書活動の推進について）
R7.12.○ ～R8.1.○	市内各所にて「丹波市図書館基本計画」にかかるパブリックコメントを募集 [パブリックコメント数 ○件]	
R8.1.○ 	○○にて「丹波市図書館基本計画」にかかるパブコミーティングを開催 [参加者 ○名] ←詳細は、丹波市ホームページに掲載	
R8.1.○	第2回 丹波市立図書館協議 会	「丹波市図書館基本計画」策定経過、令和8年度からの丹波市立図書館条例施行規則の改正等について協議
R8.2.○	第5回 丹波市図書館基本計 画策定委員会	パブリックコメントで寄せられた市民の意見内容を確認、「丹波市図書館基本計画」案について検討
R8.3.31	「丹波市図書館基本計画（第4次子ども読書活動推進計画含む）」完成	

4. 基調講演会&意見交換会レポート（令和6年度・令和7年度）

丹波市立図書館では、市民の皆さんとの声を直接聞く機会として基調講演会&意見交換会を計4回開催し、延べ参加者数120名に参加いただきました。その様子をレポートします！

（1）第1回・令和6年7月21日（日）

「おとなもこどもも みんなで考えるこれからの図書館」

※閉館後の丹波市立中央図書館で開催しました。[参加者30名]



【オープニングアクト】

「ライブラリーコンサート」出演『よしみか』さん



【基調講演】

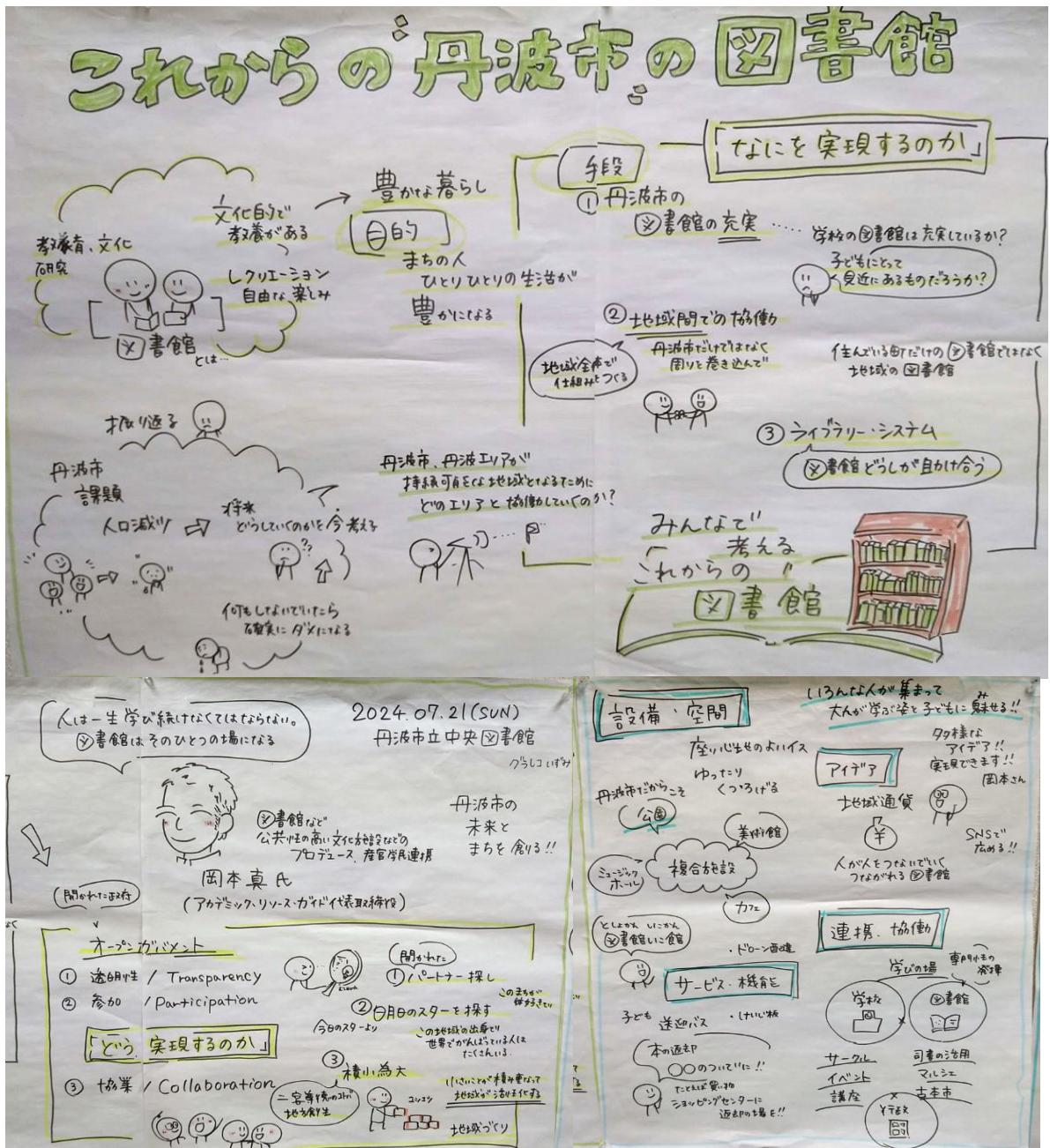
講師・総務省地域情報化アドバイザー 岡本 真さん



【意見交換会】



【参加されたみなさんの意見（絵で記録をまとめたもの）】



【参加されたみなさんの意見（一覧）】

設備や空間

カフェスペースがある図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・喫茶店感覚、マンガ喫茶 ・食事もできるスペース ・飲食スペース・キッチンカー
くつろぎスペースがある図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・座り心地が良い椅子やソファー ・ハンモックでくつろげる ・こたつで本が読める ・ゴロゴロしながら本を読めるエリア ・畳やマット、カーペットなど、くつをぬいでくつろげるスペース
テラススペースを活用した図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・テラス席をカフェスペースに ・屋外テラスや芝生の上にテーブルとイス ・外でも本が読める（犬といっしょに）
音楽が流れる図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽が流れる空間がある ・歌える空間がある図書館 ・楽譜が沢山ある ・コンサートを鑑賞できる図書館 ・ピアノがある
おしゃべりできるスペースがある図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・本を読まなくてもよい雰囲気 ・すこしはおしゃべりしたい ・お話できるスペース ・サークル活動の打合せしたい ・お話してもOK、つどいやすい雰囲気
多目的に楽しめる図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館のような図書館 ・子どもだけの場所 ・仕切りがある小部屋、静かにできる場所 ・さわいでもOKな図書館 ・本に興味なくてもたのしめる工夫 ・椅子にも本棚にも使える”階段”のようなスペース ・ガッツリ！勉強できるスペース！ ・音楽スペース（ミニコンサート） ・多目的ルームを作ってコンサートや映画を楽しむ ・オンライン会議に使えるスペースがほしい ・個室ブース（電源、Wi-Fi完備） ・運動しながら本が読める ・ゆっくり本が読めるスペース ・ワークショップスペース ・図書館に遊具を置いて公園化する
居場所としての図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・家や学校（職場）以外の第3の居場所 ・集中とリラックスができるくつろげる居場所
情報のハブとしての図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・探している本がすぐに見つけられるシステム ・興味のある本から関連本につながる見つけられるシステム ・スーパーのチラシが閲覧できる ・情報掲示板がある ・快適な空調と情報のハブの場所

サービスや機能

便利に利用できる図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・夜遅くまで仕事や勉強できる ・週1でも夜20時まで利用したい！ ・24時間貸出と返却ができる図書館 ・年中開いてる図書館 ・開館時間の延長
貸出・返却スポットを増やす	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館へ行かなくても本を返却できる ・ゆめタウンで貸出・返却ができる（予約本） ・まちじゅうに貸出スポットがある ・どこでも借りれる、どこでも返せる ・本の返却ボックスやリクエストボックスをゆめタウンやピックやコモーレなど人の集まるところに置く
図書館を利用できない人にサービスを届けるアウトリーチの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館サービスを始める ・図書の宅配サービスの拡大 ・ドローンによる宅配 ・図書館スタッフが地域に出ていく
子どもや子育て世代が利用しやすい図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自分で行けるように、図書館行きのバスを運行する ・母親がリラックスできる、本を選ぶ間子どもを見てくれる ・託児サービスがある ・子どもをあそばせながら利用できる
司書や職員の人材育成や雇用の安定化を行なう	<ul style="list-style-type: none"> ・司書の人材育成に力を入れる ・司書の正規職員として雇用する ・司書の専門性を高めるための研修を行なう ・市民が司書に関われる機会を増やす
情報のハブとしての図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・探している本がすぐに見つけられるシステム ・興味のある本から関連本につながる見つけられるシステム ・スーパーのチラシが閲覧できる ・情報掲示板がある ・情報のハブとしての図書館 ・地域資料の充実、ネットでは出てこない資料を紹介してくれる ・外国人が図書館に来たら、丹波市情報を得られる ・資料の電子化に力を入れてほしい
図書館を楽しむイベントを開催する	<ul style="list-style-type: none"> ・職員も楽しめる図書館まつりの開催 ・宿泊できる図書館 ・市民の活動発表の場をつくる ・作家さんのイベント ・ワークショップができる ・専門的な講演会 ・青空（移動）読書会 ・図鑑等を持って出て外で観察会をする ・学びの場がある ・コンサートの開催 ・新しい本をお試しで読める会 ・市民向け自分史の作成支援講座 ・閉館後・休館日を活用してイベントを開催する

	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者同士のつながりが生まれるイベント ・多世代の交流の機会がある ・障がい者が関わる機会がある
図書館の魅力を情報発信する	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用を促進するために、LINEで発信する ・図書館の役割や使い方を学ぶ機会がある ・6館体制を維持したい

市民や団体・機関との連携

学校や学校図書館との連携による充実・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館に市立図書館の本を設置して借りられるようにする ・学校図書館を市立図書館の分室にして、誰でも利用できるように ・学校図書館の地域に開放して、保護者の居場所にする ・学校図書館での地域のつながりを生み出す ・1校に1人学校司書を配置する ・学校に司書（職員）が1週間、各学校へ常駐 ・学校司書の代わりとして、公共図書館より週に1～2回出張して、学校図書館に運営に関わる ・学校図書館担当の先生向けの支援メニュー ・旧6町の地域図書館と学校図書館のありかたの統合と中央機能レベルUP! ・学校との連携、配達してくれるシニア
市民企画イベントの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックカフェとの連携（イベント企画） ・図書館で一箱古本市 ・図書館でマルシェ ・図書館センターの自主活動、園芸クラブ・手芸クラブ ・市民企画の実施 ・お料理教室、アウトドア料理、キッチンカー企画 ・夏の宿題サポート企画
市民・企業・福祉施設・病院・自治協議会・地域の公民館との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・商店や病院、公民館などに貸出・返却スポットを置いて、まちじゅう図書館をつくる ・まちライブラリーをひやす（谷川駅・ちーたん文庫） ・ショップや商店に本を宅配して、受け取れる ・商業施設で本が借りることができる ・デマンドタクシーで本宅配
市民プラザ・美術館・博物館・子育て学習センターとの連携	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館や資料館との連携 ・子育て（学習C）さんや、アフター（スクール）さんとの連携出張おはなし会など ・福祉や幼児対象の施設との連携 ・市民プラザ・男女共同参画センターの図書の充実と、第3センターに情報のハブづくりをしたい ・博物館の催しとの連携・企画

(2) 第2回・令和6年12月1日(日)

基調講演会「市民と図書館」

※丹波市立船城小学校の「ふなキッズふれあい図書室」にて開催しました。[参加者 20 名]



【事例発表】「駅の本棚 ちーたん文庫」

発表・ちーたん文庫 F R I E N D S 代表 大原隆子さん



【基調講演】「市民と図書館」

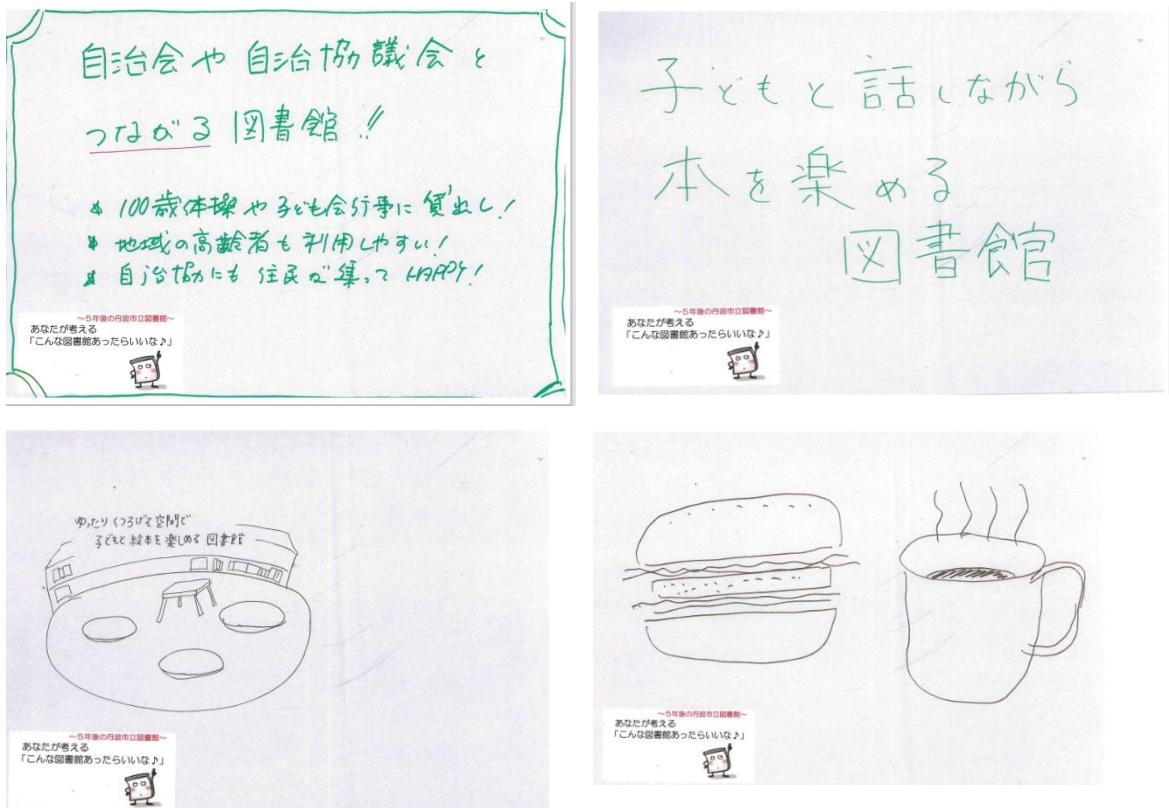
講師・京都橘大学教授 嶋田 学さん



【意見交換会】



【参加されたみなさんの意見ボードの（抜粋）】



（3）第3回・令和7年1月13日（月・祝）

「市民協働で運営するみんなの図書館」

※閉館後の丹波市立中央図書館で開催しました。[参加者 40 名]



【オープニングアクト】

「ライブラリーで落語会」出演 一般社団法人 am*am 大垣 拓夢 さん



【基調講演】

講師・総務省地域情報化アドバイザー 岡本 真さん



【意見交換会】



【参加されたみなさんの意見（抜粋）】

令和7年1月13日(月・祝)「市民協働で運営するみんなの図書館」意見交換会で出たご意見			
グループ	図書館の運営に、あなたなら、どのように力を貸していただけますか？	市民のみなさんの声を、図書館の運営にいかすには、どのような方法があると思いますか？	その他のアイデア
1	<ul style="list-style-type: none"> ・市民企画をやってみたい ・図書館サービス(レファレンスサービス)を使い倒す ・サポーターとして参加する(オンラインだと参加しやすい) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市長に市民の想いを伝える ・市と対等な関係にある「ささやま友の会」のような組織をつくる ・友の会主催の行事やイベントが開催できるように、予算を確保 ・図書館について話せる場を定期的に開催する ・オンラインでも参加できる機会を増やす ・図書館に熱意がある人のグループが必要 ・サポーターをまとめるリーダーが必要 ・図書館に関わる人のネットワークをつくる ・連絡手段を工夫して、情報が届くようにする ・図書館は活動場所を提供して、メンバーが利用できるようにする ・視聴覚室を開放して、有効活用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の文化に触れる機会をつくる ・多言語の絵本を置く ・市議会議員が図書館をもっと活用する ・スタッフを増やす ・図書館の使い方を、小学生の頃から学べる機会をつくる ・司書がまちに出ていく
2	<ul style="list-style-type: none"> ・空いた時間に運営会議等あれば参加する ・60代、70代の人の意見の取りまとめをする ・図書館サポーターとしてできる事をお手伝いする ・まずは利用する(年に1度は本を借りて有効カードに！) ・出身者として、DLのオープン配信を閲覧して利用率をあげる ・本の整理をもっと自由に 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の声を応募箱をつくる ・SNSの活用 ・市民の意見を聞くために話し合いの機会をもうける。決まったことを実行していく ・図書館について考える会議を開催する ・自治会の中に図書委員をつくる ・図書館LINEでやりたいことと人を募集する ・何かイベントをして人を集めて来た人に意見を聞く 	<ul style="list-style-type: none"> ・本を借りるだけでなく、コミュニケーションの場として利用する ・借りた本とお茶を飲みながら見る ・移動本屋をされている方と協働 ・防災無線でイベント宣伝
3	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館サポーター ・アンケート ・郷土資料の寄贈 ・子どもへの読み聞かせ ・本のリサイクルマーケットイベント開催 ・子どもたちを図書館へ送迎 ・学校と図書館の本の貸借 ・家庭での読書習慣づけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・本を借りるだけでなく、コミュニケーションの場として利用する ・借りた本とお茶を飲みながら見る ・防災無線でイベント宣伝 	<ul style="list-style-type: none"> ・本を捨てずに紙として利用(アート・趣味) ・本が何からでできているか、末路まで勉強してほしい ・本のリサイクルを考える
4	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎活動 ・より規制の少ない、図書館サポーターとしての活動 ・審議会等に参加する ・本の紹介をする。人気の本、話題の本をお互いにすすめ合う ・サポーター活動に決まった曜日や時間に囚われず参加できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自治協議会を地区文庫として活用する ・自治会や自治協の活動団体からの意見を聞く機会をつくる。「あなたなら何ができますか?」という質問をする ・アンケートに答える ・声掛けをする。館内の展示、行事を説く ・レファレンス・調べものコーナーと楽しむコーナーの機能分けをする ・図書館では司書さんにいろいろ調べてもらえることを、周知してほしい ・イベント会場に図書館を利用できることを知らせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・発言掲示板を設置する(図書館内、駅、病院、住民センター) ・読書、文化面の発展に向けて、学び方・方法の意見・発言提案版の設置 ・月1回程度の読書会 ・水・お茶が飲めるコーナーがあるといい ・図書館まつり(団体発表、こたつ読書、縁側読書) ・使い方セミナー・図書館ツアーアイデア
5	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館サポーターとして、できることから1歩ずつ活動する ・掃除、花植え ・本の整理 ・宅配ボランティア ・友の会 ・市民ネットワークをさらにつなげる ・他自治体での情報をもってくる。&反対に発信する。 ・自分たちの居場所 ・子どもへの読み聞かせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションボード(居場所) ・各場所とのコラボ ・移動図書館とキッキンガーとのコラボ ・井戸端会議 ・「ありがとうございます」の声集め ・サポーターさんのネットワーク ・キーステーション(自治会など) ・村のふれあい喫茶へ意見を聞きにいく ・図書館キャラクター ・移動図書館のインスタ発信 ・電子図書館の使い方出張講座 ・子どもが騒いてもいい図書館 ・SNS情報発信 ・イベント企画主催 	
6	<ul style="list-style-type: none"> ・本のよみきかせ ・おススメの本を紹介する(POPづくり) ・読み聞かせグループの一員となる ・図書館でのイベント等本当に、ボランティアで参する(リサイクルフェアなど) ・花壇の草取り、花うえ 	<ul style="list-style-type: none"> ・メールで意見を届ける ・図書館に関するご意見窓口をつくる ・WEB上にも窓口を設ける ・市の有線で放送する 	<ul style="list-style-type: none"> ・外に公園(子どもを外で遊んでいて、ママは本を読んでいるとか) ・高齢者・障害のある人に、読みたい本を配達できるシステム ・私語をしない静かな空間を、違うことで利用する ・借りた本の題名が気になる人がいる ・アイカツの本があったらいいです ・昔人気だった本を入れる ・声を出しても大丈夫な環境をつくる ・雑誌を全館共通で置いてほしい ・月曜日も開館し、時間を前後延ばしてほしい ・鉄道雑誌でも「鉄道ファン」に限らず他の雑誌も置いてほしい ・カフェがある(休める場所) ・ショッピングコーナー(文具・本)が買える ・駐車場の前に開館している時間が表示されていると行きやすくなる
7			<ul style="list-style-type: none"> ・図書以外の催しがあれば嬉しいです。気軽に来れるイベント ・固いイメージがあるのでもう少し、入りやすい感じがほしいです ・ドラマのDVDがあれば嬉しい

(4) 第4回・令和7年9月20日(土)

「こどもと本をむすぶもの」

氷上住民センター・大会議室で開催しました。[参加者40名]

【基調講演】

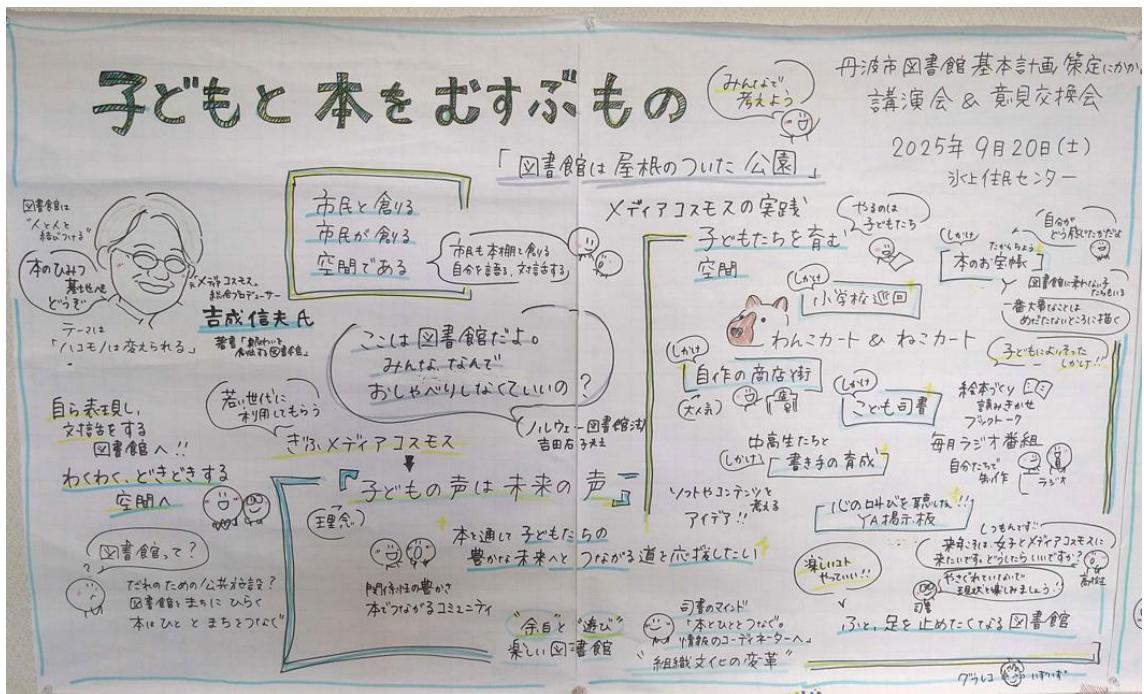
元・ぎふメディアコスモス総合プロデューサー 吉成 信夫さん



【意見交換】各グループで図書館の職員が進行役を担当しました。



【参加されたみなさんの意見（絵で記録をまとめたもの）】



【参加されたみなさんの意見（一覧）】

番号：_1_ ファシリテーター名：近藤利明

太字は全体共有時にシールが貼られたアイデア 赤字は特に多く貼られたアイデア

市民が図書館と	乳幼児		小中高生	
	やりたいこと	できること	やりたいこと	できること
こどもたちが本に親しむ機会	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館にある本をテーマにワークする ・本から得た知見を共有し、行動に落とし込む（ペピーマッサージなど） 	<ul style="list-style-type: none"> ●工夫を凝らした読み聞かせ会 ・ぬいぐるみを使う。 ・祖父母といっしょに参加（ママは休憩、自分の時間） ・地域の人による読み聞かせ 	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館まつりの実施 ・読み聞かせ、工作、キッチンカー 	<ul style="list-style-type: none"> ●スマホをいじる時間帯を減らし昔の本を読む ●図書館が居場所になる ・学校や家庭で安心できない子どももいる。どちらでもない場所。
本を通じた家族の絆を深める家庭教育支援	<ul style="list-style-type: none"> ●各家庭での環境づくり ・本棚に本を置き、大人も子供も本を楽しむ環境をつくる。 		<ul style="list-style-type: none"> ●マルシェ ・古本市、一箱本棚（一箱館長） ●親子で工作教室（親子ともスマホから離れてすごす） 	<ul style="list-style-type: none"> ●相談室の開設 ・私生活、学校のこと、心配ごと図書館に相談できる人がいる ●みんなで楽しむ図書館 ・共有スペースでの子守り（お互いさま） ・駄菓子屋 ・ほっこりできる居場所づくり
こどもたちの教育環境の充実のための学校図書館支援	<ul style="list-style-type: none"> ●こども図の本を地域へ提供（月2冊まで） 		<ul style="list-style-type: none"> ●学校図書館の開放 ・ボランティアによる図書整理（楽しい場所にする） ・ボランティアが勉強を教えてくれる ・電子図書使い方講座。 ・学校図書館カフェ 	<ul style="list-style-type: none"> ●学区図書館の開放 ・ボードゲームを置く

図書館が	乳幼児		小中高生	
	できること	すべきこと	できること	すべきこと
こどもたちが本に親しむ機会	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館ツアー ・こども図などから来てもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ●小さな子も連れていける環境づくり（ママが楽な場所） ・おむつかえ、授乳室 ・じゅうたんを敷く（安全にゴロゴロして過ごせる） ●読み聞かせの機会を増やす。 ●読書のはげみになる工夫 ・たくさん本を読んだ子にブックシールを渡す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●誰もが利用できる環境づくり ・図書館巡回バス ・図書館便りの発行 ・移動図書館 ※お菓子付き ・開館時間の延長 ・返却ボックスの数を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ●誰もが楽しめる環境づくり ・自動販売機の設置 ・カフェコーナー（飲食OK） ・創作本棚設置 ・漫画本の設置 ・リラックスできる音楽やイスの設置 ・性別に関係なく読みたいものをBL（ビーバー）、Les（レズ）
本を通じた家族の絆を深める家庭教育支援	<ul style="list-style-type: none"> ●ブックスタートの工夫 ・提供できる絵本にパパママがこども時代に好きだった絵本を加える、親もこどもの頃の気持ちを思い出せる 		<ul style="list-style-type: none"> ●アウトメディアとの連携 ・デジタル機器に触れる時間をコントロールし、メディアとの付き合い方を見直す ・スマホ講座 	
こどもたちの教育環境の充実のための学校図書館支援			<ul style="list-style-type: none"> ●図書館の本を学校の図書館で借りることができる ・図書館システムの導入 ●学校図書館の開放 ・フリーWi-Fi ※ゲームOK ・学校の下校時の寄り道OK ・勉強、おしゃべりOK ●地域の本の拠点と連携 ・民間設営の文庫、自治協議会、公共図書館など 	

市民が図書館と	乳幼児		小中高生	
	やりたいこと	できること	やりたいこと	できること
こどもたちが本に親しむ機会	<ul style="list-style-type: none"> ●移動図書館 ・キッチンカーのような気軽さ ・楽しいイメージで ・身近な場所にやってくるワクワク感 	<ul style="list-style-type: none"> ●○○と読み聞かせ ・音楽×絵本 ・組み合わせは無限大 ・思いがけないイメージが生まれる <ul style="list-style-type: none"> ●図書館に連れてくるきっかけづくり ・たのしいイベント(本にとらわれない) 	<ul style="list-style-type: none"> ●安心できる場所 ・自分だけの個室 ・自分たちで運営できる図書館 <ul style="list-style-type: none"> ●10代のための部屋 ・大人は入れない <ul style="list-style-type: none"> ・語り合える場所 ・本好きがおしゃべりできる場所(学校では本が好きと言えない雰囲気、面白目だから本が好き、ではない) 	<ul style="list-style-type: none"> ●絵本をやってみる ・創作の場にもなりうる ・説むだけ、借りるだけではない <ul style="list-style-type: none"> ●市民が好きな本 ・思い思いの好きが誰かに届く
本を通じた家族の絆を深める家庭教育支援	<ul style="list-style-type: none"> ●ベビーマッサージ ・図書館で意外に思えるイベント <ul style="list-style-type: none"> ●子育て相談 ・関連図書 ・保健師が駐在する日 	<ul style="list-style-type: none"> ●大人も楽しむ ・説明(ママのための時間) <ul style="list-style-type: none"> ●リラックスして読み聞かせを ・親も楽しむ、ただ楽しむ ・将来のため、とか考えない 	<ul style="list-style-type: none"> ●メッセージを伝える ・図書館はあたたかい安全な場所だと伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ●今している取組をアピール ・楽しく伝える
こどもたちの教育環境の充実のための学校図書館支援	<ul style="list-style-type: none"> ●リクエスト本を学校へ ・公共図書館の本を学校で受け取れる <ul style="list-style-type: none"> ●ママ友が作りやすい環境 ・ゆるやかな交流 ・気をつかう関係性ではない出会い 		<ul style="list-style-type: none"> ●学校図書館に行かなくても ・廊下や教室でも読める <ul style="list-style-type: none"> ●学校図書館で自由にすごせる ・本を読まなくても行っていい場所になる 	<ul style="list-style-type: none"> ●居場所づくり ・規則にしばられない ・あたたかい交流の場となる

図書館が	乳幼児		小中高生	
	できること	すべきこと	できること	すべきこと
こどもたちが本に親しむ機会	<ul style="list-style-type: none"> ●移動図書館 ・移動図書館、カート、キッチンカー 	<ul style="list-style-type: none"> ●こどもがのびのびできるスペース(大人とわかる) ・少しぐらい声を出しても構わない ・親子で読み聞かせしながら絵本を選べる 	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館に愛称をつける ・図書館の高さをイメージに囚われてしまう「図書館」という名称を使わない <ul style="list-style-type: none"> ●カフェをつくる ・「図書館」という名称が想起させるイメージの対極にあるもの。 ・おしゃべり、交流、気楽、わいわい 	<ul style="list-style-type: none"> ●こどもの心によりそう ・「静かに」を強調しない ・心が動いたら笑ってもいい ・こどもの場所をわかる <ul style="list-style-type: none"> ●意見を出せる掲示板 ・こどもたち、10代の意見を表現できる場
本を通じた家族の絆を深める家庭教育支援	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援 ・育児書 ・実際に相談できる人がいる 	<ul style="list-style-type: none"> ●つながりの場になる ・地域やPTAなどと違う関係 ・ゆるやかにつながる、気軽にしゃべれる 	<ul style="list-style-type: none"> ●本について語り合える場 ・親子で、家族で 	
こどもたちの教育環境の充実のための学校図書館支援			<ul style="list-style-type: none"> ●公共図書館の図書が選んだ本を学校へ ・テーマを聞いて本をそろえる ・授業でも役に立つ 	<ul style="list-style-type: none"> ●今やっている取組をPR ・もっと楽しく、広く知ってもらう

市民が図書館と	乳幼児		小中高生	
	やりたいこと	できること	やりたいこと	できること
こどもたちが本に親しみ機会	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館内でイベントを開催 <ul style="list-style-type: none"> ・専門分野のイベント（プラネタリウムなど）を開き、その分野への興味を持たせ本の貸出へと繋げる ●キャラクターカートを準備 <ul style="list-style-type: none"> ・わんこカートのようなカートを用意し、図書館へ来る楽しみをつくる ●近所のこどももいらっしゃる図書館へつれていく ●おうちでおはなし会 	<ul style="list-style-type: none"> ●おすすめ本を紹介する <ul style="list-style-type: none"> ・ポップを作る ・「こんな本おもしろいよ！」とおすすめ本をロコミで教える ●家で不要になった本を図書館へ寄付する ●土日に読み聞かせを行う <ul style="list-style-type: none"> ・親子そろって紙芝居をする ・親子どちらも楽しいおはなし会をする 	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館内でイベントを開催 <ul style="list-style-type: none"> ・専門分野のイベント（宇宙イベント）を開き、その分野への興味を持たせ本の貸出へと繋げる 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校へ行っておはなし会をする ●ボランティアで読み聞かせに行く <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな本を学校へ ・休み時間にこどもたちに読む ●こどもたちが普段いく場所で返却できるボスト
本を通じた家族の絆を深める家庭教育支援	<ul style="list-style-type: none"> ●寝る前等タイミングを決めて読み聞かせを行うよう促す ●笑顔でいさつ ●利用者の意識をかえる取組 <ul style="list-style-type: none"> ・館内でこどもが泣いていてもさわいでいてもみんなが見守ることができるように 	<ul style="list-style-type: none"> ●興味がありそうな本をたくさんそろえる ●気軽に読み聞かせできるスペースをつくる 		<ul style="list-style-type: none"> ●スマホを触る代わりに本を読む日時を設ける ●こどもの好きな本をプレゼントする
こどもたちの教育環境の充実のための学校図書館支援			<ul style="list-style-type: none"> ●小中高生に読みたい本のアンケートをとる 	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館の整理に時々行く ●ボランティアに登録する

図書館が	乳幼児		小中高生	
	できること	すべきこと	できること	すべきこと
こどもたちが本に親しみ機会		<ul style="list-style-type: none"> ●イベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・親子一緒に参加できる ●にゅんこカートをつくる ●本に興味が向く工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・絵本のキャラクターの着ぐるみなど ●スペースをつくる <ul style="list-style-type: none"> ・保護者とこどもがサークル活動できるスペース ・保護者もくつろげるスペース 		<ul style="list-style-type: none"> ●本に興味をもつイベントを開催 ●色々なジャンルのおすすめポップを展示 ●スペースをつくる <ul style="list-style-type: none"> ・誰とでもおしゃべりOK ・カフェスペース ・テラス席 ・どんなににぎやかに過ごしてもよいスペース ・友達と遊べるスペース
本を通じた家族の絆を深める家庭教育支援	<ul style="list-style-type: none"> ●こどもの本のリクエストを受け付ける 	<ul style="list-style-type: none"> ●こども雑誌を充実させる 	<ul style="list-style-type: none"> ●進路相談コーナーの設置 ●本の福袋を配布する 	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭読書の日をもっと大々的に呼びかけ ・具体的なアクションを起こす
こどもたちの教育環境の充実のための学校図書館支援	<ul style="list-style-type: none"> ●本に関するカルタやゲームを置く 	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館のおすすめ本を貸し出す 	<ul style="list-style-type: none"> ●移動図書館を時々学校へ ●マンガや雑誌を取り入れて本に親しむ入口をつくる ●悩み相談を図書室でできるようにする→その悩み解決へのオススメ本を紹介 ●家族と一緒に図書室へ行ける日を設ける 	<ul style="list-style-type: none"> ●返却ボスト <ul style="list-style-type: none"> ・いろんな所で返却できるボスト

市民が図書館と	乳幼児		小中高生	
	やりたいこと	できること	やりたいこと	できること
子どもたちが本に親しむ機会	<ul style="list-style-type: none"> ●親子で飛び出す絵本づくり <ul style="list-style-type: none"> ・仕掛けがあつたほうが子どもも興味を持つ ・お父さんも参加しやすい ・とびだす絵本を作るのが得意な作家さんがいるので、一緒にする ●居場所となるサードプレイスをつくる(ゆめタウン) <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ、本の配達、声出してOK、カフェ、遊べる場所 	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館にある本を利用し、読み聞かせをする <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアと協力して ・学校の図書室でおはなし会をする ●しゃべってもいい、親子で使える部屋をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ●本を使って世界の言葉辞典作り ●図書館から「ここからbook」に本を貸し出し ●演劇で本の世界を表現する <ul style="list-style-type: none"> ●「推し活の日」 ・利用者が推しの本、人物について語り合う日を決め、図書館内に掲示し、参加者を募集 例)「○○推しの人、集まれ！」 	<ul style="list-style-type: none"> ●読書通帳の写真版 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが写真好き。それぞれが好きな方法で記入したい ・子どもたちを集めて、本の中の登場人物になりきって本を読んでもらう ●イラストやマンガを楽しく表現できる機会をもつ <ul style="list-style-type: none"> ・本紹介など
本を通じた家族の絆を深める家庭教育支援			<ul style="list-style-type: none"> ●葉っぱのフレディの演劇 <ul style="list-style-type: none"> ・自殺予防週間などの取組の一環として、いのちに関する演劇等を上演する ●自分も読書する時間をもつ <ul style="list-style-type: none"> ・家族が読書をしていないところも本を読まない 	<ul style="list-style-type: none"> ●親子ミニ図書館披露会 <ul style="list-style-type: none"> ・親と子供がそれぞれ好きな本を一つの箱に入れ、家族でつくった図書館に名前を付け、体育館など大きなスペースで披露しあう
子どもたちの教育環境の充実のための学校図書館支援			<ul style="list-style-type: none"> ●学校図書館を地域の人に開放し、交流できる場所に 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校図書館で、おすすめ本の紹介ポップアップをつくる <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアと一緒に

図書館が	乳幼児		小中高生	
	できること	すべきこと	できること	すべきこと
子どもたちが本に親しむ機会	<ul style="list-style-type: none"> ●もっとマンガを置く <ul style="list-style-type: none"> ・本よりも手軽に読める ・マンガをきっかけに本を好きになってもらう ・収録が島につくような本は置くべき(いいじわるバアさんなど) ・市民が求めている本があることで、使いやすさにつながる 	<ul style="list-style-type: none"> ●本を減らして空間を作る ●季節のイベントを企画し、市民と一緒に実施する ●ゆっくり過ごすために <ul style="list-style-type: none"> ・喫茶店やお弁当を食べる場所がほしい ・子どもがぐずっても気兼ねなく過ごせる場所 ●子の親世代への教育 <ul style="list-style-type: none"> ・様々な世代が交流できるイベントを図書館が企画する ・子どもが親以外の大人とふれあえる ・イベントに合わせた本を用意しておいて、借りて帰ってもらう(子育て関連の本など思いがけない出会い) 		<ul style="list-style-type: none"> ●図書館に座室空間を作る <ul style="list-style-type: none"> ・ネットカフェのように、人目につかない場所で落ち書きで本を読みたい ●使い終わった参考書を持ち込み紹介するコーナー <ul style="list-style-type: none"> ・使わない参考書を図書館に持って来て、必要な人が持つて帰る ・参考書以外にも、市民が持ち込んだ本を(図書館主催の)リサイクルフェアに出す ●寝転んでOKなヨギボーやクッションのある空間
本を通じた家族の絆を深める家庭教育支援				
子どもたちの教育環境の充実のための学校図書館支援				<ul style="list-style-type: none"> ●子どもが本に関する情報(電子図書館など)を知れる機会を増やす。学校にPRする ●本を読む手段(情報)を伝える
				<ul style="list-style-type: none"> - 小4(1/2成人式の時期)に、電子図書館の広報をする。 - 本のプレゼントの代わりに、本を読む手段(情報)をプレゼントする

市民が図書館と	乳幼児		小中高生	
	やりたいこと	できること	やりたいこと	できること
こどもたちが本に親しむ機会	<ul style="list-style-type: none"> ●島近に絵本のある環境をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・図書館へいかなくてもいろいろなところで図書（絵本）が手にどれる場所づくり ●健診（1歳半？3歳児）の会場を図書館の近くにしてもらう <ul style="list-style-type: none"> ・健診の帰りだと図書館に寄りやすく、きっかけ作りにもなる ●ブックスタートの次の段階へのPR <ul style="list-style-type: none"> ・出張絵本ひろば 	<ul style="list-style-type: none"> ●健診の時におはなし会のお知らせをしてもらう。 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者が減ってきてるので具体的なお知らせをする ●ぬいぐるみや人形のお泊り会 ●こどもが本に出会える場所をふやす <ul style="list-style-type: none"> ・ちーたん文庫のような（図書館以外に）子ども向けの本が見られる場所をふやす 	<ul style="list-style-type: none"> ●移動図書館 <ul style="list-style-type: none"> ・宿休みや放課後に貸出する ●図書館で開催される読書会で交流したい ●小学校での読み聞かせボランティアを地域で募集 <ul style="list-style-type: none"> ・年々読み手が減っていて保護者の方も積極的でない。 ・やってみたいという方を地域で募集する 	<ul style="list-style-type: none"> ●こどもが本に出会える場所をふやす <ul style="list-style-type: none"> ・ちーたん文庫のような（図書館以外に）子ども向けの本が見られる場所をふやす
本を通じた家族の絆を深める家庭教育支援	<ul style="list-style-type: none"> ●誕生日にあった本を紹介する <ul style="list-style-type: none"> ・だくさんの本の中から自分で選ぶのは難しい。紹介してもらうことで手に取りやすくなるのでは。 ●FMラジオで読み聞かせ 	<ul style="list-style-type: none"> ●さまざまな家庭に働きかけ <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会に参加する家庭は親が本好きの方が多い。親が本に興味がなく本に親しむ機会のない子どもたちに向けて参加を働きかけていきたい 	<ul style="list-style-type: none"> ●夜の図書館イベント <ul style="list-style-type: none"> ・ハロウィンなど夜の図書館で開催するイベント ・夜なら出やすい家族に来てみて本を探す体験をしてもらう 	
こどもたちの教育環境の充実のための学校図書館支援	<ul style="list-style-type: none"> ●保育所・幼稚園への出張読み聞かせ <ul style="list-style-type: none"> ・「こちらから行く」ことで図書館を知ってもらう <ul style="list-style-type: none"> ・来てもらうきっかけにもなる。 		<ul style="list-style-type: none"> ●子ども同士で本の読み聞かせ <ul style="list-style-type: none"> ・大人にはない視点の選書や紹介が文学や物語に触れるきっかけにもなる <ul style="list-style-type: none"> ・上級生が下級生や乳幼児に読み聞かせ 	

図書館が	乳幼児		小中高生	
	できること	すべきこと	できること	すべきこと
こどもたちが本に親しむ機会	<ul style="list-style-type: none"> ●体験型の絵本講座 <ul style="list-style-type: none"> （図書館×子育て学習センター、図書館×地域の公民館など） ●「どうぞのいす」の設置。 <ul style="list-style-type: none"> （ここで「どうぞのいす」を読むよし、何かお菓子やお土産を置いていくよし。） 	<ul style="list-style-type: none"> ●親子で読み聞かせができる場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ソファ、ヨギボーグ、こたつ、などを設置して、くつろげる場所をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ●体験型の企画 <ul style="list-style-type: none"> ・絵本に出てくる料理を作って食べてみよう ●小さなコンサート <ul style="list-style-type: none"> ・こどもたちが音楽で習ったりコーダーや鍵盤ハーモニカのミニミニコンサート 	<ul style="list-style-type: none"> ●親睦会 <ul style="list-style-type: none"> ・自然親睦会 ・星空親睦会 ●少し騒いでもいい場所 <ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習スペース
本を通じた家族の絆を深める家庭教育支援	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て中の親御さんに子どもと一緒に読んで楽しかった本を尋ねる ●ソファ、ハンモック、ピーズクッションを置く ●もぐりこめる空間を作る <ul style="list-style-type: none"> ・児童書コーナーの真ん中にインディアンテントなどを設置 		<ul style="list-style-type: none"> ●図書館旅部 <ul style="list-style-type: none"> ・メディアコスモスに遊びに行くツアーを講じる 	
こどもたちの教育環境の充実のための学校図書館支援	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館司書によるブックトークを『図書の時間』に組み込んでほしい ・一部の学校ではすでに実施。学校だけでなく親にもこういうことをやっているとPRすることで学校が動いてくれるのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ●こども園の先生対象の読み聞かせの研修実施 <ul style="list-style-type: none"> ・選書の仕方、読み方、など 		<ul style="list-style-type: none"> ●本の好きな子どもが本のPRをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・大人はその発表の手伝いをする。 ・発表することが子どもの自信につながる ●学校の先生対象の研修実施 <ul style="list-style-type: none"> ・おすすめの本の選び方、など

市民が 図書館と	乳幼児		小中高生	
	やりたいこと	できること	やりたいこと	できること
こどもたちが 本に親しむ機会	<ul style="list-style-type: none"> ●本に親しむハードルを下げる（きちんと読まなくていい） ●乳幼児を図書館に連れてくるのは大人なので、大人が興味を持つ仕組み（敷居を低くする仕組み）を作る。 例：おしゃべりできる 例：BGMが流れている 例：寝っ転がれるスペース 例：散歩するだけで面白い 例：常設の工作コーナー（折り紙など） 	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館に行きたいといえれば連れてくる。 ●好きな本の話を聞いてやる ●自分の好きな本の話をする 	<ul style="list-style-type: none"> ●体験型ワークショップの開催 例：有川浩の「植物図鑑」に載っている雑草を探し、そのレシピで料理し、食べるなど ●夜の図書館で過ごす ●みんなのライブラリー（市民が自分の図書館コーナーを作る） 	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館に行きたいといえれば連れてくる（小学生） ●自分の好きな本の話をしたり、紹介したりするイベントの開催（ピリオバトルのバトルなし？） ●家に遊びに来た我が子の友達が本に触れる環境を作る。 ●「こんな人に読んでほしい」と本を提案
本を通じた家族の絆 を深める 家庭教育支援	<ul style="list-style-type: none"> ●親子のワークショップの開催 例：絵本に出てくるお菓子作り 例：絵本に出てくるキャラクターをおりがみで作るなど 	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館に行きたいといえれば連れてくる。 ●我が家に読み聞かせ ●好きな本の話を聞いてやる ●自分の好きな本の話をする 	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館に行きたいといえれば連れてくる（小学生） ●親子のワークショップ開催 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分が本を読む（姿を見せる） ●図書館に行きたいといえれば連れてくる（小学生）
こどもたちの教育環境の充実のための 学校図書館支援			<ul style="list-style-type: none"> ●図書館でグループ学習や話し合いができる環境を作る ●学校帰りに図書館に立ち寄りができるようにする ●市内の図書館システムと学校図書館のシステムを同じにして、どちらでも借りられ、どちらでも返せるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館でテスト勉強や宿題ができる環境を作る。 ●県内どこの本でも借りられる（すでに相互貸借として実施）

図書館が	乳幼児		小中高生	
	できること	すべきこと	できること	すべきこと
こどもたちが 本に親しむ機会	<ul style="list-style-type: none"> ●ファミリーデーの実施 ●乳幼児を図書館に連れてくるのは大人なので、大人が興味を持つ仕組み（敷居を低くする仕組み）を作る。 例：おしゃべりできる 例：BGMが流れている 例：寝っ転がれるスペース 例：散歩するだけで面白い 例：常設の工作コーナー●各図書館でユニフォームを作るなどして色を出す 	<ul style="list-style-type: none"> ●読み聞かせのスペースを作る そこではおしゃべりもOK ●絵本はきちんと読まなくていい、見るだけでもいいと若いお母さんやお父さんに分かってもらう（ブックスタートですでに実施だが、不十分かも） 	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館マルシェ ●SNSでバズるイベント開催 ●いろいろなところとコラボしてイベント開催 例：屋上を開放して星空観察会【山南】 ●出張図書館（移動図書館） ●みんなのライブラリー（市民が自分の図書館コーナーを作る） 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の好きな本の話をしたり、紹介したりするイベントの開催（ピリオバトル？）
本を通じた家族の絆 を深める 家庭教育支援	<ul style="list-style-type: none"> ●親子のワークショップの開催 例：絵本に出てくる菓子作り 例：絵本のキャラクターをおりがみで作るなど 	<ul style="list-style-type: none"> ●読み聞かせのスペースを作る そこではおしゃべりもOK 	<ul style="list-style-type: none"> ●親子のワークショップ開催 	
こどもたちの教育環境の充実のための 学校図書館支援			<ul style="list-style-type: none"> ●夜間・開放日の実施（22時くらいまで） ●市内の図書館システムと学校図書館のシステムを同じにして、どちらでも借りられ、どちらでも返せるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ●本を読むところと学習するところのスペース分け（グループ学習のスペースも） ●学校図書館との連携 ●学校図書の設置

5. こども読書アンケートの結果（令和7年度）

こどもたちの読書等の実態を知るために、市内の小学生・中学生を対象にしたアンケートを実施しました。その結果を報告します。

このアンケートの結果は「丹波市図書館基本計画」の運営方針2「こども読書活動推進に取り組む図書館」を中心に反映させています。

丹波市立図書館 こども読書アンケート

結果報告書

調査期間：令和7年7月7日～令和7年9月30日

区分	学年	対象者	回答数	回答率
小学生	4年生	475	95	20%
	5年生	498	88	18%
	6年生	518	88	17%
	計	1,491	271	18%
中学生	1年生	488	119	24%
	2年生	524	201	38%
	3年生	552	216	39%
	計	1,564	536	34%
合計		3,055	807	26%

※端数処理の関係で、合計が100%にならない場合があります。

(1) こども読書アンケート調査票

※このアンケートの中の「本」には、雑誌やマンガはふくめます。教科書はふくめません。

問1 あなたの学校を選んでください。

() 小学校・中学校 ※回答フォームは選択できるように設定

問2 あなたの学年を選んでください。

1. 小学4年生 2. 小学5年生 3. 小学6年生 4. 中学1年生 5. 中学2年生 6. 中学3年生

問3 読書が好きですか？

1. 好き 2. どちらかというと好き 3. どちらかというときらい 4. きらい

問4 どんな本を読んでいますか？(2つまで選べます。)

1. 絵本	2. 物語(童話、昔話、小説など)	3. 伝記や歴史
4. 植物や動物	5. 科学や宇宙	6. 料理やあみもの
7. スポーツや音楽	8. 雑誌	9. マンガ
10. 読まない		

問5 【問4で、1~9を選んだ人が答えてください。】

なぜ本を読みますか？(2つまで選べます。)

1. 楽しいから・おもしろいから	2. 興味があることをさらにくわしく知れるから
3. 知らないことを知れるから	4. まわりの大人に本を読みなさいと言われるから
5. 気持ちが落ち着くから	6. 本を読んで想像することが楽しいから
7. その他()	

問6 【問4で、1~9を選んだ人が答えてください。】

1日あたりの読書時間はどのくらいですか？(朝読の時間は入れません。)

1. 1時間以上 2. 30分以上1時間まで 3. 30分まで

問7 【問4で、1~9を選んだ人が答えてください。】

本をいつ読みますか？(朝読の時間は入れません。)

1. 平日(月曜日～金曜日) 2. 休日(土曜日、日曜日、祝日) 3. 平日と休日のどちらも

問8 【問4で、10を選んだ人が答えてください。】

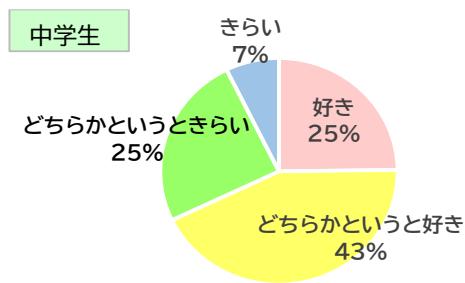
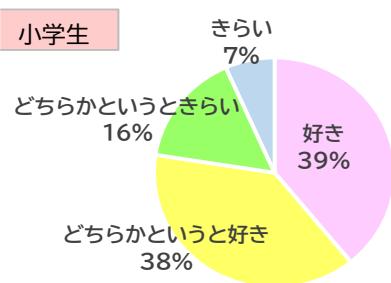
本を読まないのはなぜですか？(2つまで選べます。)

1. 読書がおもしろくないから	2. 習い事や勉強で時間がないから
3. 本を読むとつかれるから	4. スポーツやクラブ活動の方が楽しいから
5. テレビ・ゲーム・インターネットの方が楽しいから	6. 読みたいと思う本がないから
7. どの本を読めばいいかわからないから	8. その他()

- 問9 小さいころ、まわりの大人に本を読んでもらいましたか？
1.よく読んでもらった 2.ときどき読んでもらった 3.読んでもらったことがない 4.おぼえていない
- 問10 まわりの大人は本を読んでいますか？
1.よく読んでいる 2.ときどき読んでいる 3.あまり読んでいない 4.わからない
- 問11 スマートフォンやタブレットなどで、1週間にどのくらい読書をしますか？
1.毎日 2.4～6日 3.1～3日 4.利用しない
- 問12 学校の図書室を、1週間にどのくらい利用しますか？
1.5回以上 2.3～4回 3.1～2回 4.利用しない
- 問13 学校の図書室にしてほしいことは何ですか？(2つまで選べます。)
1.いろいろな本をそろえる 2.開いている時間を長くする
3.借りられる本の数をふやす 4.借りられる本の期間を長くする
5.本の相談ができる先生がいつもいる 6.本をさがしやすくする
7.本のしょうかいやお知らせをする 8.くつろげるスペースをつくる
9.静かに集中して本を読めるスペースをつくる 10.おしゃべりができるスペースをつくる
11.その他()
- 問14 学校以外の図書館を、1年以内にどのくらい利用しましたか？
1.毎月 2.3か月に1回くらい 3.半年に1回くらい 4.ほとんど利用していない
5.利用したことがない
- 問15 学校以外の図書館にしてほしいことは何ですか？(3つまで選べます。)
1.家の近くに本を借りたり返したりできる場所をつくる
2.いろいろな本をそろえる 3.開いている時間を長くする
4.借りられる本の数をふやす 5.借りられる本の期間を長くする
6.本をさがしやすくする 7.本のしょうかいやお知らせをする
8.楽しいイベントをする 9.くつろげるスペースを作る
10.静かに集中して本を読めるスペースをつくる 11.おしゃべりができるスペースをつくる
12.電源や Wi-Fi を使えるようにする 13.自動貸出機を使えるようにする
14.その他()

(2) 単純集計表

問3 読書が好きですか？		回答数	割合
小学生	好き	106	39%
	どちらかというと好き	104	38%
	どちらかというときらい	43	16%
	きらい	18	7%
中学生	好き	133	25%
	どちらかというと好き	231	43%
	どちらかというときらい	133	25%
	きらい	39	7%



問4 どんな本を読んでいますか？(2つまで選べます。)		回答数	割合
小学生	マンガ	150	35%
	物語(童話、昔話、小説など)	88	21%
	絵本	49	12%
	伝記や歴史	32	8%
	科学や宇宙	21	5%
	料理やあみもの	20	5%
	植物や動物	16	4%
	スポーツや音楽	13	3%
	雑誌	11	3%
	読まない	25	6%
中学生	9.マンガ	311	37%
	2.物語(童話、昔話、小説など)	276	33%
	7.スポーツや音楽	59	7%
	3.伝記や歴史	31	4%
	8.雑誌	29	3%
	1.絵本	23	3%
	5.科学や宇宙	21	2%
	4.植物や動物	17	2%
	6.料理やあみもの	8	1%
	10.読まない	67	8%

問5 なぜ本を読みますか？(2つまで選べます。) 【問4で1～9を選んだ人が答えてください。】		回答数	割合
小学生	楽しいから・おもしろいから	161	42%
	知らないことを知れるから	60	16%
	興味があることをさらにくわしく知れるから	54	14%
	本を読んで想像することが楽しいから	50	13%
	気持ちが落ち着くから	42	11%
	まわりの大人に本を読みなさいと言われるから	10	3%
	その他	8	2%

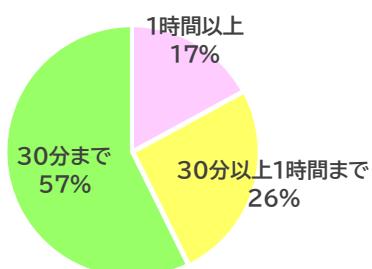
その他	・暇つぶしになるから
	・面白い
	・眠くなるから
	・読む時間(強制)
	・あまり読まない
	・興味があるから
	・いろんな言葉を学べるから

		回答数	割合
中学生	楽しいから・おもしろいから	323	44%
	興味があることをさらにくわしく知れるから	109	15%
	本を読んで想像することが楽しいから	104	14%
	知らないことを知れるから	82	11%
	気持ちが落ち着くから	70	10%
	まわりの大人に本を読みなさいと言われるから	28	4%
	その他	10	1%

その他	・学校で読書の時間があるから
	・暇だから、暇つぶし、暇をつぶすため、暇な時間を潰したいから
	・本を集めたいから、別に本を読もうと思って買うわけではない
	・有意義な時間を過ごすため
	・表紙や本の題名が面白そうだから

問6 1日あたりの読書時間はどのくらいですか？(朝読の時間は入れません。)【問4で1～9を選んだ人が答えてください。】		回答数	割合
小学生	1時間以上	42	17%
	30分以上1時間まで	63	26%
	30分まで	141	57%
中学生	1時間以上	43	9%
	30分以上1時間まで	94	20%
	30分まで	332	71%

小学生

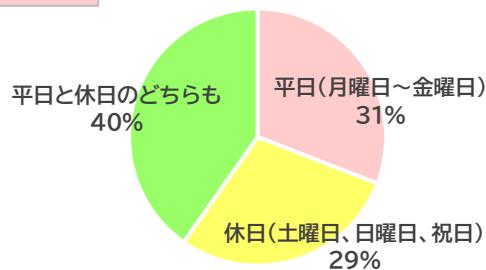


中学生

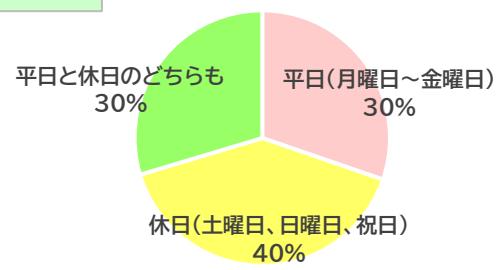


問7 本をいつ読みますか？(朝読の時間は入れません。)【問4で1～9を選んだ人が答えてください。】		回答数	割合
小学生	平日(月曜日～金曜日)	76	31%
	休日(土曜日、日曜日、祝日)	71	29%
	平日と休日のどちらも	99	40%
中学生	平日(月曜日～金曜日)	142	30%
	休日(土曜日、日曜日、祝日)	188	40%
	平日と休日のどちらも	139	30%

小学生



中学生



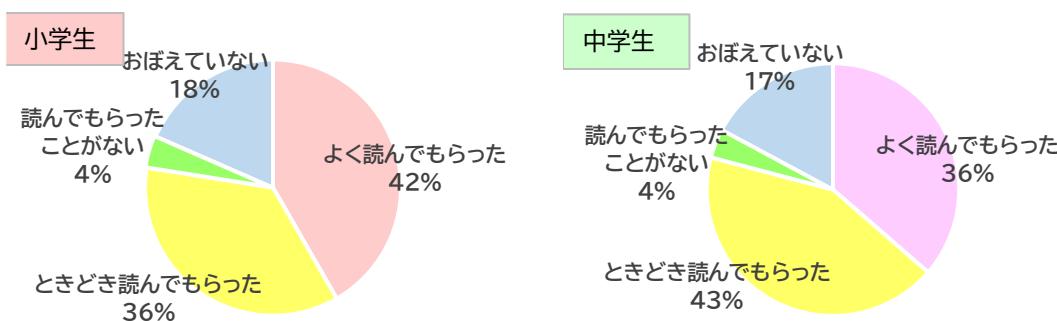
問8 本を読まないのはなぜですか？(2つまで選べます。) 【問4で、10を選んだ人が答えてください。】		回答数	割合
小学生	読書がおもしろくないから	13	31%
	読みたいと思う本がないから	10	24%
	テレビ・ゲーム・インターネットの方が楽しいから	9	21%
	習い事や勉強で時間がないから	5	12%
	スポーツやクラブ活動の方が楽しいから	2	5%
	どの本を読めばいいのかわからないから	2	5%
	本を読むとつかれるから	1	2%
	その他	0	0%

その他 回答なし

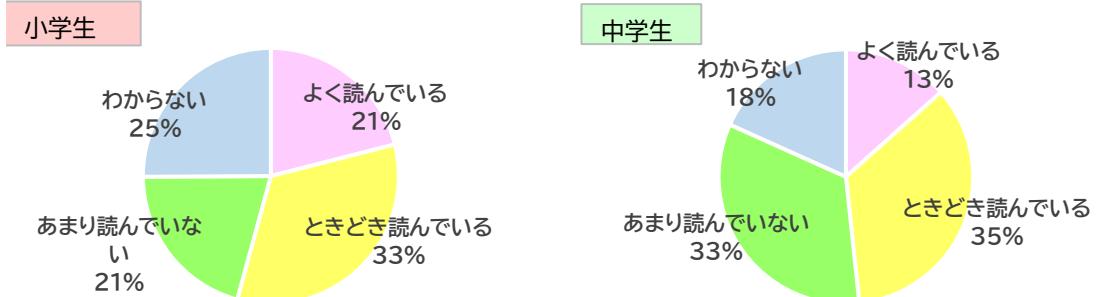
		回答数	割合
中学生	読みたいと思う本がないから	25	24%
	テレビ・ゲーム・インターネットの方が楽しいから	19	18%
	読書がおもしろくないから	16	16%
	スポーツやクラブ活動の方が楽しいから	16	16%
	本を読むとつかれるから	10	10%
	習い事や勉強で時間がないから	9	9%
	どの本を読めばいいのかわからないから	7	7%
	その他	1	1%

その他 ・昔、本を読んで後悔したから

問9 小さいころ、まわりの大人に本を読んでもらいましたか？		回答数	割合
小学生	よく読んでもらった	113	42%
	ときどき読んでもらった	97	36%
	読んでもらったことがない	11	4%
	おぼえていない	50	18%
中学生	よく読んでもらった	195	36%
	ときどき読んでもらった	229	43%
	読んでもらったことがない	20	4%
	おぼえていない	92	17%

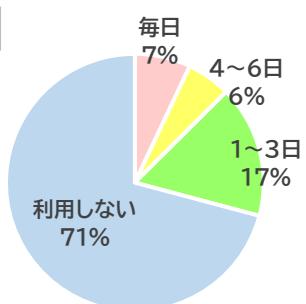


問10 まわりの大人は本を読んでいますか？		回答数	割合
小学生	よく読んでいる	57	21%
	ときどき読んでいる	90	33%
	あまり読んでいない	56	21%
	わからない	68	25%
中学生	よく読んでいる	72	13%
	ときどき読んでいる	187	35%
	あまり読んでいない	179	33%
	わからない	98	18%

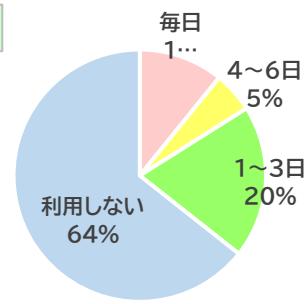


問11 スマートフォンやタブレットなどで、1週間にどのくらい読書をしますか？		回答数	割合
小学生	毎日	19	7%
	4~6日	15	6%
	1~3日	45	17%
	利用しない	192	71%
中学生	毎日	58	11%
	4~6日	28	5%
	1~3日	105	20%
	利用しない	345	64%

小学生



中学生



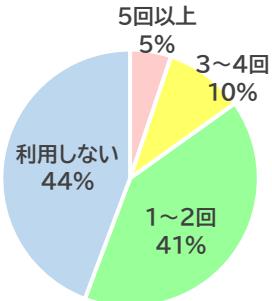
問12 学校の図書室を、1週間にどのくらい利用しますか？

回答数

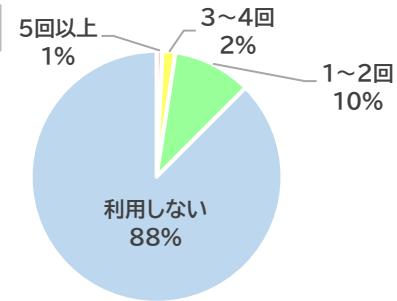
割合

		回答数	割合
小学生	5回以上	14	5%
	3~4回	27	10%
	1~2回	110	41%
	利用しない	120	44%
中学生	5回以上	4	1%
	3~4回	9	2%
	1~2回	54	10%
	利用しない	469	88%

小学生



中学生



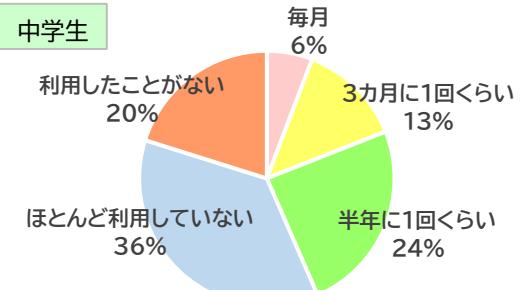
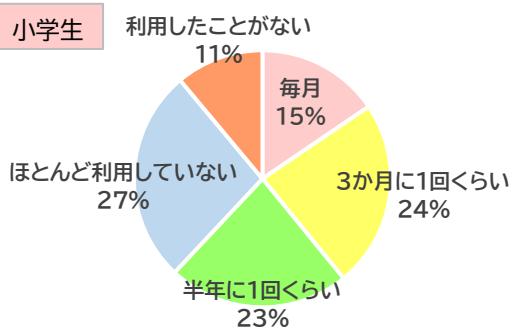
問13 学校の図書室にしてほしいことは何ですか？ (2つまで選べます。)		回答数	割合
小学生	いろいろな本をそろえる	109	25%
	本をさがしやすくする	70	16%
	くつろげるスペースをつくる	71	16%
	おしゃべりができるスペースをつくる	54	12%
	借りられる本の数をふやす	41	9%
	静かに集中して本を読めるスペースをつくる	38	9%
	開いている時間を長くする	20	5%
	借りられる本の期間を長くする	11	3%
	本のしょうかいやお知らせをする	10	2%
	本の相談ができる先生がいつもいる	4	1%
その他		9	2%

その他	・そもそも図書室がない	・図書室をつくる
	・雑誌やまんがを置いて欲しい	・漫画をもっと入れてほしい
	・ワンピースの漫画を置く	・シリーズ系で揃えたりしてほしい
	・特になし	・読みたい本がある
	・友達と一緒に本を読めるスペース	

		回答数	割合
中学生	いろいろな本をそろえる	176	21%
	くつろげるスペースをつくる	174	21%
	おしゃべりができるスペースをつくる	160	19%
	本をさがしやすくする	102	12%
	開いている時間を長くする	70	8%
	借りられる本の期間を長くする	45	5%
	静かに集中して本を読めるスペースをつくる	43	5%
	借りられる本の数をふやす	26	3%
	本のしょうかいやお知らせをする	24	3%
	本の相談ができる先生がいつもいる	6	1%
その他		11	1%

その他	・マンガが欲しい、マンガを用意する
	・部活の終わりに借りたい
	・検定用のワークが欲しい
	・学級文庫の数を増やす
	・特にない

問14 学校以外の図書館を、1年以内にどのくらい利用しましたか？		回答数	割合
小学生	毎月	42	15%
	3か月に1回くらい	64	24%
	半年に1回くらい	62	23%
	ほとんど利用していない	73	27%
	利用したことがない	30	11%
中学生	毎月	31	6%
	3か月に1回くらい	71	13%
	半年に1回くらい	131	24%
	ほとんど利用していない	195	36%
	利用したことがない	108	20%



問15 学校以外の図書館にしてほしいことは何ですか？ (3つまで選べます。)		回答数	割合
小学生	いろいろな本をそろえる	80	14%
	くつろげるスペースをつくる	74	13%
	家の近くに本を借りたり返したりできる場所をつくる	56	10%
	本をさがしやすくする	55	10%
	楽しいイベントをする	54	10%
	電源やWi-Fiを使えるようにする	52	9%
	おしゃべりができるスペースをつくる	43	8%
	借りられる本の期間を長くする	34	6%
	静かに集中して本を読めるスペースをつくる	29	5%
	借りられる本の数をふやす	25	5%
	開いている時間を長くする	21	4%
	本のしょうかいやお知らせをする	15	3%
	自動貸出機を使えるようにする	11	2%
	その他	5	1%

その他	・同じ本の種類をそろえてほしい	・特になし
	・勉強ができるスペースをもう少し多くしてほしい	・分からぬ

		回答数	割合
中学生	電源やWi-Fiを使えるようにする	204	19%
	いろいろな本をそろえる	150	14%
	くつろげるスペースをつくる	140	13%
	家の近くに本を借りたり返したりできる場所をつくる	119	11%
	おしゃべりができるスペースをつくる	95	9%
	本をさがしやすくする	87	8%
	楽しいイベントをする	70	7%
	自動貸出機を使えるようにする	50	5%
	借りられる本の期間を長くする	45	4%
	開いている時間を長くする	36	3%
	借りられる本の数をふやす	26	2%
	静かに集中して本を読めるスペースをつくる	24	2%
	本のしょうかいやお知らせをする	22	2%
	その他	6	1%

その他	・特にない
	・飲食スペースをつくる

(3) クロス集計表・分析

[家庭での読書環境と児童・生徒の読書に対する意識の相関①単純集計表]

	問9 小さいころ、まわりの大人に本を読んでもらいましたか？	人数	問3 読書が好きですか？		人数	割合
			好き	どちらかというと好き		
小学生	よく読んでもらった	113	好き	54	19.9%	
			どちらかというと好き	43	15.9%	
			どちらかというとくらい	11	4.1%	
			くらい	5	1.8%	
小学生	ときどき読んでもらった	97	好き	33	12.2%	
			どちらかというと好き	41	15.1%	
			どちらかというとくらい	15	5.5%	
			くらい	8	3.0%	
小学生	読んでもらったことがない	11	好き	4	1.5%	
			どちらかというと好き	3	1.1%	
			どちらかというとくらい	3	1.1%	
			くらい	1	0.4%	
小学生	おぼえていない	50	好き	15	5.5%	
			どちらかというと好き	17	6.3%	
			どちらかというとくらい	14	5.2%	
			くらい	4	1.5%	

	問9 小さいころ、まわりの大人に本を読んでもらいましたか？	人数	問3 読書が好きですか？		人数	割合
			好き	どちらかというと好き		
中学生	よく読んでもらった	195	好き	58	10.8%	
			どちらかというと好き	95	17.7%	
			どちらかというとくらい	29	5.4%	
			くらい	13	2.4%	
中学生	ときどき読んでもらった	229	好き	47	8.8%	
			どちらかというと好き	101	18.8%	
			どちらかというとくらい	71	13.2%	
			くらい	10	1.9%	
中学生	読んでもらったことがない	20	好き	4	0.7%	
			どちらかというと好き	10	1.9%	
			どちらかというとくらい	4	0.7%	
			くらい	2	0.4%	
中学生	おぼえていない	92	好き	24	4.5%	
			どちらかというと好き	25	4.7%	
			どちらかというとくらい	29	5.4%	
			くらい	14	2.6%	

【家庭での読書環境と児童・生徒の読書に対する意識の相関①分析】

【小学生】

- ・小さいころに、まわりの大人に本を「よく読んでもらった、ときどき読んでもらった」と回答した人(210人)のうち、81%が読書が「好き、どちらかというと好き」と回答
- ・小さいころに、まわりの大人に本を「読んでもらったことがない、おぼえてない」と回答した人(61人)でも、64%が読書が「好き、どちらかというと好き」と回答

【中学生】

- ・小さいころに、まわりの大人に本を「よく読んでもらった、ときどき読んでもらった」と回答した人(424人)のうち、71%が読書が「好き、どちらかというと好き」と回答
- ・小さいころにまわりの大人に本を「読んでもらったことがない、おぼえてない」と回答した人(112人)でも、56%が読書が「好き、どちらかというと好き」と回答

【分析】

◆小中学生ともに、小さいころ、まわりの大人に本を「読んでもらった」人の方が、「読んでもらったことがない、おぼえていない」人より読書が好きな人が多い傾向がみられる。

[家庭での読書環境と児童・生徒の読書に対する意識の相関②]

	問10 まわりの大人は本を読んでいますか？	人数	問3 読書が好きですか？	人数	割合
小学生	よく読んでいる	57	好き	36	13.3%
			どちらかというと好き	17	6.3%
			どちらかというときらい	2	0.7%
			きらい	2	0.7%
小学生	ときどき読んでいる	90	好き	32	11.8%
			どちらかというと好き	40	14.8%
			どちらかというときらい	14	5.2%
			きらい	4	1.5%
小学生	あまり読んでいない	56	好き	20	7.4%
			どちらかというと好き	20	7.4%
			どちらかというときらい	10	3.7%
			きらい	6	2.2%
小学生	わからない	68	好き	18	6.6%
			どちらかというと好き	27	10.0%
			どちらかというときらい	17	6.3%
			きらい	6	2.2%

	問10 まわりの大人は本を読んでいますか？	人数	問3 読書が好きですか？	人数	割合
中学生	よく読んでいる	72	好き	28	5.2%
			どちらかというと好き	29	5.4%
			どちらかというときらい	11	2.1%
			きらい	4	0.7%
中学生	ときどき読んでいる	187	好き	55	10.3%
			どちらかというと好き	86	16.0%
			どちらかというときらい	40	7.5%
			きらい	6	1.1%
中学生	あまり読んでいない	179	好き	34	6.3%
			どちらかというと好き	85	15.9%
			どちらかというときらい	47	8.8%
			きらい	13	2.4%
中学生	わからない	98	好き	16	3.0%
			どちらかというと好き	31	5.8%
			どちらかというときらい	35	6.5%
			きらい	16	3.0%

[家庭での読書環境と児童・生徒の読書に対する意識の相関②分析]

[小学生]

- ・まわりの大人が本を
「よく読んでいる、ときどき読んでいる」と回答した人(147人)のうち、85%が読書が「好き、どちらかというと好き」と回答
- ・まわりの大人が本を
「あまり読んでいない、わからない」と回答した人(124人)でも、69%が読書が「好き、どちらかというと好き」と回答

[中学生]

- ・まわりの大人が本を
「よく読んでいる、ときどき読んでいる」と回答した人(259人)のうち、76%が読書が「好き、どちらかというと好き」と回答
- ・まわりの大人が本を
「あまり読んでいない、わからない」と回答した人(277人)でも、60%が読書が「好き、どちらかというと好き」と回答

[分析]

◆小中学生ともに、まわりの大人が本を「読んでいる」人の方が、本を「読んでいる姿をみていない」人より読書が好きな人が多い傾向がみられる。

[家庭での読書環境と児童・生徒の読書に対する意識の相関③]

	問10 まわりの大人は本を読んでいますか？	人数	問6 1日あたりの読書時間はどのくらいですか？	人数	割合
小学生	よく読んでいる	57	1時間以上	13	4.8%
			30分から1時間まで	19	7.0%
			30分まで	24	8.9%
			読まない	1	0.4%
小学生	ときどき読んでいる	90	1時間以上	16	5.9%
			30分から1時間まで	20	7.4%
			30分まで	49	18.1%
			読まない	5	1.8%
小学生	あまり読んでいない	56	1時間以上	8	3.0%
			30分から1時間まで	11	4.1%
			30分まで	27	10.0%
			読まない	10	3.7%
小学生	わからない	68	1時間以上	5	1.8%
			30分から1時間まで	13	4.8%
			30分まで	41	15.1%
			読まない	9	3.3%

	問10 まわりの大人は本を読んでいますか？	人数	問6 1日あたりの読書時間はどのくらいですか？	人数	割合
中学生	よく読んでいる	72	1時間以上	16	3.0%
			30分から1時間まで	15	2.8%
			30分まで	35	6.5%
			読まない	6	1.1%
中学生	ときどき読んでいる	187	1時間以上	10	1.9%
			30分から1時間まで	45	8.4%
			30分まで	118	22.0%
			読まない	14	2.6%
中学生	あまり読んでいない	179	1時間以上	8	1.5%
			30分から1時間まで	24	4.5%
			30分まで	116	21.6%
			読まない	31	5.8%
中学生	おぼえていない	98	1時間以上	9	1.7%
			30分から1時間まで	10	1.9%
			30分まで	63	11.8%
			読まない	16	3.0%

【家庭での読書環境と児童・生徒の読書に対する意識の相関③分析】

【小学生】

- ・まわりの大人が本を
「よく読んでいる、ときどき読んでいる」と回答した人(147人)のうち、46%が1日あたりの読書時間は「30分以上」と回答
- ・まわりの大人が本を
「あまり読んでいない、わからない」と回答した人(124人)のうち、30%が1日あたりの読書時間は「30分以上」と回答

【中学生】

- ・まわりの大人が本を
「よく読んでいる、ときどき読んでいる」と回答した人(259人)のうち、33%が1日あたりの読書時間は「30分以上」と回答
- ・まわりの大人が本を
「あまり読んでいない、わからない」と回答した人(277人)のうち、18%が1日あたりの読書時間は「30分以上」と回答

【分析】

◆小中学生ともに、まわりの大人が本を「読んでいる」人の方が、本を「読んでいる姿をみていない」人より読書時間が長くなる傾向がみられる。

[児童・生徒の読書に対する意識の相関①]

	問3 読書が好きですか？	人数	問12 学校の図書室を、1週間にどのくらい利用しますか？	人数	割合
			5回以上		
小学生	好き	106	3~4回	13	4.8%
			1~2回	40	14.8%
			利用しない	40	14.8%
			5回以上	0	0.0%
	どちらかというと好き	104	3~4回	9	3.3%
			1~2回	47	17.3%
			利用しない	48	17.7%
			5回以上	1	0.4%
	どちらかというとくらい	43	3~4回	3	1.1%
			1~2回	20	7.4%
			利用しない	19	7.0%
			5回以上	0	0.0%
	くらい	18	3~4回	2	0.7%
			1~2回	3	1.1%
			利用しない	13	4.8%
			5回以上	0	0.0%

	問3 読書が好きですか？	人数	問12 学校の図書室を、1週間にどのくらい利用しますか？	人数	割合
			5回以上		
中学生	好き	133	3~4回	1	0.2%
			1~2回	4	0.7%
			利用しない	29	5.4%
			5回以上	99	18.5%
	どちらかというと好き	231	3~4回	1	0.2%
			1~2回	3	0.6%
			利用しない	18	3.4%
			5回以上	209	39.0%
	どちらかというとくらい	133	3~4回	0	0.0%
			1~2回	1	0.2%
			利用しない	5	0.9%
			5回以上	127	23.7%
	くらい	39	3~4回	2	0.4%
			1~2回	1	0.2%
			利用しない	2	0.4%
			5回以上	34	6.3%

[児童・生徒の読書に対する意識の相関①]

[小学生]

- ・読書が「好き、どちらかというと好き」と回答した人(210人)のうち、42%が学校の図書室を「1週間のうち1回も利用しない」と回答
- ・読書が「どちらかというときらい、きらい」と回答した人(61人)のうち、48%は学校の図書室を「1週間に1回以上利用している」と回答

[中学生]

- ・読書が「好き、どちらかというと好き」と回答した人(364人)のうち、85%が学校の図書室を「1週間のうち1回も利用しない」と回答
- ・読書が「どちらかというときらい、きらい」と回答した人(172人)のうち、94%が学校の図書室を「1週間のうち1回も利用しない」と回答

[分析]

- ◆小学生は、読書が「どちらかというときらい、きらい」であっても、図書室を利用している人が約半数いるので、読書以外の理由で利用している可能性が考えられる。
- ◆中学生は、読書の好ききらいに関わらず、図書室を利用しない人が多い傾向がみられる。

【児童・生徒の読書に対する意識の相関②】

	問3 読書が好きですか？	人数	問14 学校以外の図書館を、1年以内にどのくらい利用しましたか？	人数	割合
			毎月		
小学生	好き	106	3ヶ月に1回くらい	25	9.2%
			半年に1回くらい	18	6.6%
			ほとんど利用していない	17	6.3%
			利用したことない	15	5.5%
			毎月	8	3.0%
小学生	どちらかというと好き	104	3ヶ月に1回くらい	25	9.2%
			半年に1回くらい	28	10.3%
			ほとんど利用していない	34	12.5%
			利用したことない	9	3.3%
			毎月	3	1.1%
小学生	どちらかというとくらい	43	3ヶ月に1回くらい	9	3.3%
			半年に1回くらい	11	4.1%
			ほとんど利用していない	15	5.5%
			利用したことない	5	1.8%
			毎月	0	0.0%
小学生	くらい	18	3ヶ月に1回くらい	5	1.8%
			半年に1回くらい	5	1.8%
			ほとんど利用していない	7	2.6%
			利用したことない	1	0.4%

	問3 読書が好きですか？	人数	問14 学校以外の図書館を、1年以内にどのくらい利用しましたか？	人数	割合
			毎月		
中学生	好き	133	3ヶ月に1回くらい	20	3.7%
			半年に1回くらい	35	6.5%
			ほとんど利用していない	34	6.3%
			利用したことない	21	3.9%
			毎月	5	0.9%
中学生	どちらかというと好き	231	3ヶ月に1回くらい	37	6.9%
			半年に1回くらい	61	11.4%
			ほとんど利用していない	86	16.0%
			利用したことない	42	7.8%
			毎月	2	0.4%
中学生	どちらかというとくらい	133	3ヶ月に1回くらい	12	2.2%
			半年に1回くらい	27	5.0%
			ほとんど利用していない	64	11.9%
			利用したことない	28	5.2%
			毎月	1	0.2%
中学生	くらい	39	3ヶ月に1回くらい	2	0.4%
			半年に1回くらい	8	1.5%
			ほとんど利用していない	11	2.1%
			利用したことない	17	3.2%

[児童・生徒の読書に対する意識の相関②]

[小学生]

- ・読書が「好き、どちらかというと好き」と回答した人(210人)のうち、64%が学校以外の図書館を「利用している」と回答
- ・読書が「どちらかというとくらい、くらい」と回答した人(61人)のうち、54%が学校以外の図書館を「利用している」と回答

[中学生]

- ・読書が「好き、どちらかというと好き」と回答した人(364人)のうち、50%が学校以外の図書館を「利用している」と回答
- ・読書が「どちらかというとくらい、くらい」と回答した人(172人)のうち、30%が学校以外の図書館を「利用している」と回答

[分析]

- ◆小学生は、読書の好きくらいに関わらず、学校以外の図書館を半数が利用している。
- ◆中学生は、読書の好きくらいに関わらず、小学生と比べると、学校以外の図書館の利用回数が減少する傾向がみられる。

丹波市図書館基本計画
(第4次子ども読書活動推進計画を含む) 資料編

令和8年3月
発行／丹波市教育委員会社会教育・文化財課
丹波市立図書館